

平成 30 年 4 月 13 日

保護者各位

浦添市立浦添中学校  
校長 佐久川譲治  
(公 印 省 略)

## 麻しん（はしか）感染に係る注意喚起及び諸対応について

保護者の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本県では、3月に麻しん患者が発生し、今月に入り感染が拡大しています。麻しんは非常に感染力が強く、空気感染します。近隣の市町村では小学生の感染も確認されています。新学期が始まり、今後浦添市や本校でも感染が確認される可能性もあります。

つきましては、本疾病に罹った場合の欠席、治療に関して本校では下記の通り対応いたします。また、感染拡大の予防と感染への早期治療を図るべく、ご家庭においてもお子様の日々の健康状態に留意していただきますよう、ご理解とご協力のほど宜しくお願いいたします。

### 記

#### 1. 浦添中学校の対応

- (1) 麻しん（はしか）に罹った場合は、**出席停止**です。「学校において予防すべき感染症」のため、治るまで学校をお休みしなければなりません（欠席扱いになりません）。出席停止期間は、解熱した後3日を経過するまでです。
- (2) 朝、発熱している場合は、登校させず自宅で様子を見てください。以下の症状がでた場合、麻しんの疑いがあることを伝えた上で医療機関の指示に従い、受診してください。

症状：38℃前後の熱が2～4日続き、倦怠感、咳、鼻水、くしゃみ、結膜炎症状（結膜充血、目やに、光をまぶしく感じる）が現れ、その後、再び高熱（39℃以上）とともに発疹が出る。

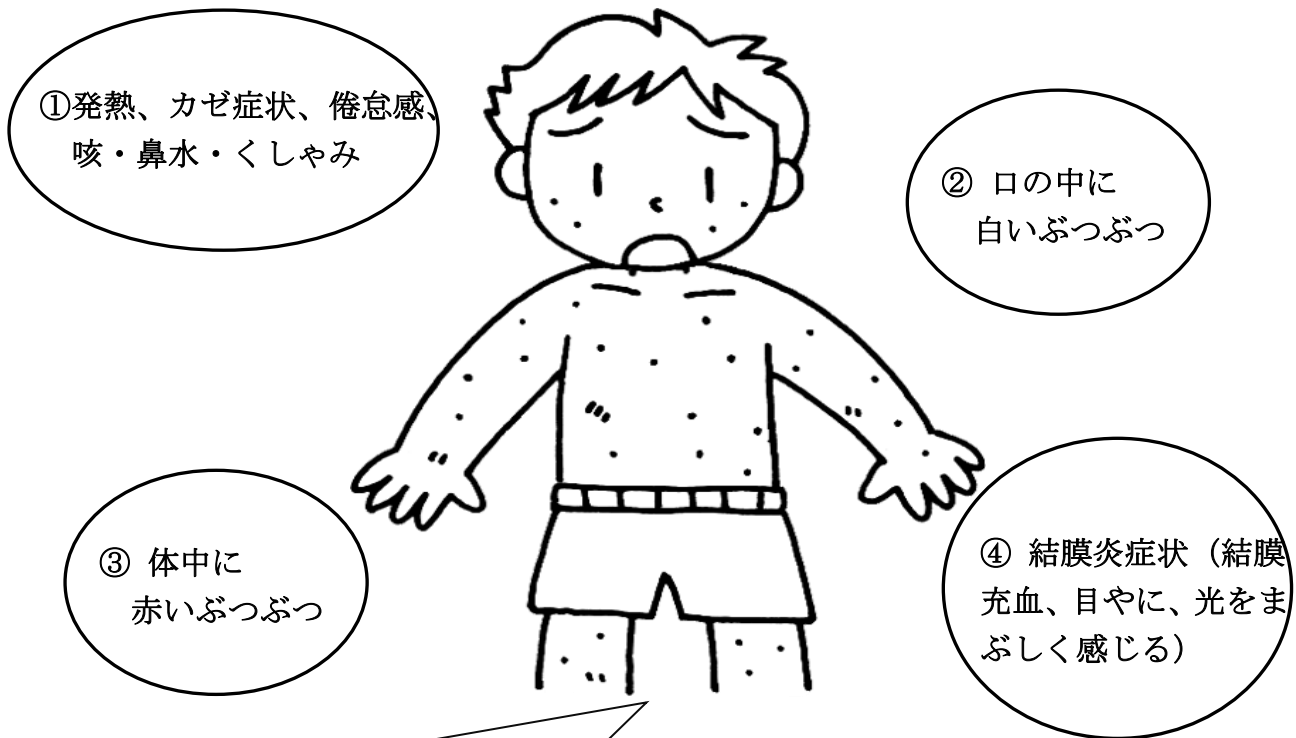
- (3) 学校で発熱した際は、当面の間、感染拡大防止のため保健室で経過観察できませんので、保護者の方の早めのお迎えをお願いします。
- (4) 麻しんの予防には、2回の予防接種が有効です。母子手帳で麻しん予防接種歴（MRと書かれています）を把握してください。

#### 2. 予防接種について

- (1) 予防接種を受けていない方で麻しんに感染したことがない方は、早めに予防接種を受けることをお勧めします。（中学生は自己負担です。）
- (2) 麻しん予防接種を受けてから、10年以上経過すると免疫が下がり、流行時に麻しんを発症することがあります。

沖縄県教育委員会からの文書引用

## 麻疹（はしか）の主な症状について



**原因となる病原体：麻疹ウイルス**

**感染経路：空気感染 飛まつ感染（せき・くしゃみ）**

**潜伏期間：10日～12日**

**出席停止期間：熱が下がった次の日から3日を経過するまで**

**予防法：ワクチン（定期予防接種）**

**※口の中に白いぶつぶつができる時期の感染力が最も強い！**

**※症状は、白いぶつぶつ「カタル期」→赤いぶつぶつ「発しん期」**

**→「回復期」の順に進行します。**

※麻疹は、学校保健安全法施行規則第18条で学校感染症第2種に指定されています。空気感染や飛まつ感染し、児童生徒等のり患が多く、学校において流行を広げる可能性が高い感染症です。学校で感染が拡大しやすく、手洗い・うがい・マスク着用では感染を防ぐことはできません。予防にはワクチン接種が有効です。